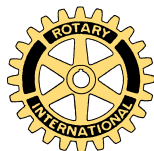


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2022～2023年度 国際ロータリー ジェニファー E. ジョーンズ 会長テーマ

IMAGINE ROTARY イマジン ロータリー

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 小川 耕示
幹事 丹羽 克誌
会報委員長 石川 友美

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3178回例会プログラム

[当年度=17回目；当月=4週目]

2022年（令和4年）11月28日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

12:00 〈食事〉

12:28 1. チャイム

12:30 2. 点鐘……〈会長〉

3. 開会宣言

4. ロータリーソング斉唱……日も風も星も

5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介

6. 会長挨拶並びに会長報告

7. 幹事報告

8. 出席報告

9. 委員会報告

10. ニコニコボックス報告

11. 次週並びに次々週のプログラムの予告

(12/5) ……

新会員アワー 前田 春実 会員

〃 宮川 清 会員

(12/12) ……クラブ総会

次年度理事役員選出

13:00 12. 本日のプログラム

卓話 『「社風の良い会社作り」あってはならないものと、なくてはならないもの』

講師 有限会社キャリア・サポート

代表取締役 三厨 万妃江 様

(紹介者 嶋津 孝久 会員)

13. 謝辞

14. 点鐘……〈会長〉

15. 閉会宣言

13:30 16. 散会

出席

会員総数 101名 出席免除 27名

出席義務者+免除者の内例会出席者 87名

欠席 10名 出席率 88.50%

前々回(11/14)の修正出席率 100%

会長報告

- 1) 11月23日(水) 西三河分区ガバナー補佐杯親睦ゴルフ大会が葵カントリークラブにて開催、刈谷クラブは団体が2位でした。刈谷ゴルフ例会では11月度ゴルフ例会を行いました。グロス88、HP13.2、ネット74.8にて磯部一智会員が優勝されました。

幹事報告

- 1) 刈谷市中央図書館より寄付へのお礼が届きました。12月中には、ロータリー文庫として館内のテーマ棚に並べて紹介・貸し出しを行っているそうです。
- 2) 2022-23年度地区大会実行委員長 伊奈輝三様より地区大会参加のお礼状が届きました
- 3) 本日例会終了後に特別会議室にて第6回理事会を開催致します。関係の会員はご出席をお願い致します。

会長あいさつ

小川 耕示



サッカーワールドカップ カタール大会が始まり注目が集まっています。ドイツに勝ったというのは快挙でしたが、コスタリカに負けたため、まだまだ決勝トーナメントに勝ち進めるか目を離せません。20年前に日本で開催された2002年ワールドカップでは、日本×ロシア戦が本大会で初勝利を飾った記念すべき試合となり、2000年代の最高視聴率66.1%を獲得しました。この数字は歴代視聴率第3位で自国開催で時差もなく、リアルタイムで視聴できたために大変盛り上

がりました。

テレビ視聴率で歴代最高をとったのは、1963年のNHK紅白歌合戦で、視聴率81.4%だそうです。この年はまだまだ白黒放送で、榊みちよが「こんにち赤ちゃん」、舟木一夫が「高校三年生」で初出場を果たしました。最近の紅白歌合戦の視聴率は40%前後となり、他番組と比較すれば十分高い数字ですが昔ほどの人気はなくなってきています。高視聴率歴代2位は、1964年東京オリンピック女子バレー日本×ソ連戦です。当時の女子バレーボールチームは、時間差攻撃や回転レシーブなど斬新な戦術を取り入れて「東洋の魔女」と呼ばれ、日本はソ連に勝利して念願の金メダルを獲得しました。この試合で記録した視聴率66.8%は日本のスポーツ中継としては歴代最高記録で未だ破られていません。

ワールドカップやオリンピックなどの国同士のスポーツ競技になると国民が一体となって応援し、それに伴ってテレビの視聴率が上昇するようです。自国開催になるとさらに盛り上がるようで、前回のラグビーワールドカップは、日本チームが出場し、日本で開催されたので今まで以上に盛り上がりました。サッカーはプロリーグが各地にあり世界でも盛んなスポーツなのですが、その名選手が集まり自国を代表して世界一の国を決める大会を行っているので世界中が熱狂することになっています。まだまだグループステージ、決勝リーグと続きますが4年に一度のイベントを楽しみたいと思います。



卓 話

『社風の良い会社作り』あってはならないものと、なくてはならないもの

講師 有限会社キャリア・サポート
代表取締役 三厨万妃江 様



私は日頃「社風の良い会社づくり」をテーマに、人材育成コンサルタントとして活動しております。

私が考える「社風の良い会社」とは、社内の人間関係の風通しの良い会社です。

社風の良し悪しが生産性を左右することは、100年以上前に、アメリカでの「ホーソン実験」によって証明されています。生産性に関わることでですから、ないがしろにできないのが「職場の人間関係」なのです。

では、どのようにしたら「社風の良い会社」を作ることができるのでしょうか。

まず「社風の良い会社」にあってはならないものは「ハラスメント」です。現在、職場の三大ハラスメントは法制化され、企業が対策することは義務化されています。このようなことから、ハラスメント対策は「リスクマネジメント」と考え、組織作りを進めていただきたく存じます。まずは全社員でハラスメント防止のための「正しい知識」を共有することから始めてください。

しかし、リスクマネジメントだけでは、残念ながら、社風の良い会社になることはありません。

もう一步進んで「社風の良い会社」に、なくてはならないものへの取り組みを進めることが必要でしょう。私が考えるそれらは「社員間の良いマナー」や「円滑な社内コミュニケーション」そして、「適切な部下指導」などです。特にマナーやコミュニケーションは、顧客対応だけにとどまらず、社員間でも徹底することをおすすめいたします。特に「言葉遣い」は重要です。「言葉遣い」の乱れや緩みがさまざまなハラスメントにつながることは、私の仕事上の経験から確信しております。社員間の会話が、上下関係に関わらず「丁寧語を基本とする敬語」での会話になっているかをぜひチェックなさってください。これらの徹底がハラスメント防止策になると、様々な企業様とご一緒に取り組む中で、実感しております。

今回のテーマ「社風の良い会社」あってはならないものとなくてはならないもの。

まずは身近なことから実践していただき、「社風の良い会社づくり」を進めてください。

今よりも「社風の良い会社」が世の中に増えますようにと心から願っております。



第 6 回 理 事 会

- I 会長挨拶 〈会 長〉
- II 議 題
1. 12月・1月のプログラム（案）について
〈クラブ奉仕委員長〉
 〈プログラム委員長〉
 2. 新年例会並びに合同懇親会について 〈幹 事〉
 3. 次年度地区委員会委員推薦について
〈会長エレクト〉
 4. 中部経済新聞社年賀広告について 〈幹 事〉
 5. グローバル補助金について 〈幹 事〉
 6. その他
- III 会場監督の所見

11月度刈谷 RC ゴルフ例会

令和 4 年11月23日(水)

於：葵カントリークラブ

成 績	氏 名	G	H	N
優 勝	磯部 一智	88	13.2	74.8
2 位	盛田 豊一	96	26.6	69.4
3 位	塚本 幸夫	105	30.2	74.8
B B	松浦 修三	129	32.4	96.6